

## 学校関係者評価（保護者アンケート）の評価集計報告

北海道大谷室蘭高等学校  
学校評価委員会

本校では、平成20年度より「学校評価に関する規定」に基づき、学校評価委員会を設置し、教育活動等の成果を検証し、生徒がより良い教育活動等を楽しめるよう学校運営の改善と発展を目指し、学校評価（自己評価、学校関係者評価）を実施することになりました。今年度は、12月に保護者の皆様にアンケート調査という形でご協力をお願いし、令和2年1月22日までに提出していただいた内容の評価集計をご報告いたします。今年度も、多くの皆様から貴重なご意見等をいただきましたので、今後、関係分掌や教科等で検討しながら来年度の教育活動に反映させていきたいと考えております。アンケートにご協力いただきました保護者の皆様、誠にありがとうございました。

### ① アンケート調査方法

本校の教育活動や学校運営に関する質問事項16項目に対して、4段階（4～1）の中から選ぶ回答方式で実施。ただし、学年・男女別は必ず記入、名前は任意記入。

### ② アンケート実施期間及び回収期間

令和2年12月25日～令和3年1月14日

### ③ アンケート回収状況及び回答別数

1年生 108通（72.0%） 2年生 88通（76.5%） 3年生 86通（67.7%）

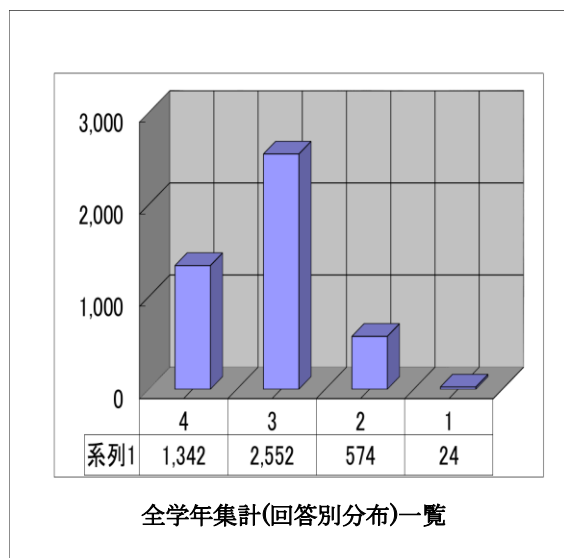
**全体 271通（71.9%）**

### 【各項目の各回答集計結果（全学年）】

※評価基準 回答4＝よく当てはまる 回答3＝やや当てはまる 回答2＝あまり当てはまらない 回答1＝全く当てはまらない

NO	評価項目	4	3	2	1
1	お子さんの様子などから本校への入学について満足している。	138	126	18	1
2	建学の精神を理解し、教育スローガンに基づいた教育活動が実践されている。	84	178	18	0
3	学級・学年通信、PTA会報誌などは学校の様子を知る上で役立っている。	97	159	26	0
4	学校は保護者の願いや声に応えた教育を積極的に実践している。	62	175	43	1
5	一人ひとりを大切にし、わかりやすく興味・関心の持てる授業が展開されている。	68	173	39	0
6	習熟度授業を含め、系に応じた授業展開と個々の学力を伸ばす授業が行われている。	96	164	21	0
7	お子さんの学習状況や評価（評価方法含む）がわかりやすく説明されている。	82	167	30	2
8	学校はお子さんたちに基本的な生活習慣を身に付けさせるための指導を実践している。	96	167	17	0
9	学習、生活について家庭と学校（担任・顧問）の連携が図れている。	71	146	62	2
10	制服を正しく着用し、頭髪などきめ細かい指導が行われている。	105	155	19	1
11	学校行事は子どもたちにとって充実したものが行われている。	75	158	45	3
12	事故や問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が的確に行われている。	66	152	56	4
13	3年間を見通した組織的、計画的な進路指導が行われている。	89	158	34	0
14	進路に関する情報提供が迅速かつ適切に行われている。	73	155	52	2
15	進路講習や個人面談など個に応じた指導が行われている。	85	154	37	4
16	PTA活動について十分な情報が伝えられている。	55	165	57	4
計		1342	2552	574	24

## 【各項目の各回答集計結果（学年別）】



評価基準 学年 項目	4			3			2			1		
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
1	54	40	44	48	44	33	6	4	8	0	0	1
2	30	28	26	74	55	48	3	5	10	0	0	0
3	31	34	32	64	45	49	12	9	5	0	0	0
4	21	19	22	69	55	50	16	13	14	0	1	0
5	24	22	22	70	49	53	14	15	10	0	0	0
6	34	30	32	67	46	50	7	10	4	0	0	0
7	26	28	28	74	46	46	8	12	10	0	2	0
8	36	25	35	66	55	45	6	6	5	0	0	0
9	25	22	24	58	44	43	24	20	18	0	1	1
10	40	36	29	60	45	49	8	3	8	0	1	0
11	25	27	23	61	48	48	20	11	14	1	2	0
12	23	25	18	57	45	49	23	16	17	1	1	2
13	30	27	32	67	47	43	10	13	11	0	0	0
14	27	19	27	62	49	43	18	19	15	0	1	1
15	24	23	38	68	50	35	14	12	11	1	2	1
16	19	19	17	59	50	55	29	15	13	0	3	1

### 【回答への取組みついて】

#### 建学の精神及び教務(授業・学習)について

- ・建学の精神は、本校の教育活動の根幹をなすものであり、常に建学の精神の具現化を目指すものでなければなりません。その為には、教職員が共通認識をもって宗教教育を柱とした教育活動を展開して行くことが何より大切です。今後とも、本校の教育スローガンである「きょうも会えたね あしたも楽しみ」と思える学校作りを目指して教育活動に邁進して参ります。
- ・公平感を保持できるよう、今以上に教科方針や評価方針について啓蒙して参ります。
- ・教科指導については、教科内における研修や自己研鑽に努め、教科指導の充実を図って参ります。

#### 生活指導について

- ・生徒の学校生活を支える為、個々に目を配る生活指導に力を入れて参ります。

#### 部活動について

- ・練習試合や練習計画の日程を予定表にして配付して参ります。
- ・練習場所や時間の調整について各部間で円滑化を図ります。

#### 進路指導について

##### 1. 3年間の進路指導について

1年次より、LHR（年間6回）を利用して、進路に対する考え方を養いつつ、ベネッセ模試や進研模試の3回～4回実施、小論文模試、SPI模試、クレペリン検査、進路適性検査を行い、学力の確認や進学心・職業感を高めています。土曜講習や3年次放課後講習、夏期冬期講習、進路相談週間も実施しています。また、1年次より、校内進路ガイダンスを実施し、3年次には企業の方に職業講話やマナー指導をして頂いています。インターンシップ・看護体験や介護施設見学・介護体験・就職希望者の職場見学もあります。3年間で計画的に進路決定ができるように取り組んでいます。

<進路関係の取り組み（新型コロナの影響による未実施分があります）>

- ①ロングホームルーム「進路の時間」（年間6回）
- ②進路適性試験（各学年最低2回） 結果は、学期末等にご家庭に送付
- ③模擬試験 実施予定日と範囲表を年度初めに生徒に配布、結果はご家庭にも送付
- ④講習（土曜講習・放課後講習・夏期冬期講習・各種検定講習など）
- ⑤校内進路ガイダンス（大学・短大・専門学校・企業からの講師来校）  
4・6・7・8月（3年次）2月（2年次）3月（1・2年次）
- ⑥進路学習（毎週1回、スポーツ選択以外の生徒が2時間続きで受ける）  
リサーチワーク・グループワーク・ディスカッション・プレゼンテーションの力を育成
- ⑦インターンシップ・職場見学

## 2. 進路に関する情報提供について

- ・校外進学ガイダンスや、オープンスクールなどの案内（3年次担任を通して）
- ・資料請求ブースの常設
- ・学校のホームページにて進路行事の様子の発信
- ・保護者進路説明会は未実施（昨年度は 83名参加）
- ・生徒、保護者への情報提供を促進しつつ担任を含む3者との情報共有を図ります。

## 3. 受験方法により問われる力が増減するが、土台は学力であること（1・2により期待する伸ばす力の一つ）

- ・大学側が高校生に要求するものは、基本的に学力です。どのような選考方法であっても学力は外せない選考基準となります。それが、筆記試験での学力表示（点数）か、高校から出される調査書の評定（普段の学力を高校独自の視点から定めた数値）かの違いだけです。当然大学側は、高校から出された評定の信憑性を確認しますので、本校評定が他の高校と比較し、どのような位置関係であるかも把握していますし、それが本校の対外的評価となって参ります。単に生徒を入学させればよい訳ではなく、生徒の学力が身に付かなければ、真に希望する大学には入学できないし、仮に希望の学部学科の大学に入学し卒業をしても、その職業に就ける可能性が低くなるからです。（アンケートにはありませんでしたが、昨年と同様なことは重要なので再掲しました。）

## 4. 教員間、教員と生徒そして教員と保護者間の情報共有の充実を図るとともに、思い込みをなくします。

### その他

- ・PTA広報誌の掲載内容を、今後とも幅広く求めていきたいと考えております。

#### 【保護者アンケートに記述があった内容について】

- ・学校から親（寮含む）への連絡や各種情報提供の充実について
- ・身嗜み（生徒指導）について
- ・充実した高校生活を送れたことへの感謝について
- ・担任の先生や部活指導者等への感謝について 他
- ・評価基準について
- ・コロナ対応について
- ・配付物の作成について

保護者の皆さまから各設問の回答と記述でいただいたアンケートに関しましては、私達教職員が真摯に受け止め、それぞれの関係分掌や教科等で吟味検討しながら、新年度の方針に組み込み、日々の教育活動に生かしていきたいと考えております。なお、記述していただいた内容につきましては、全ての教職員で確認しており、上記内容（教務、生徒指導、進路指導他からのコメント）に沿って要望等検討して参りますので、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

1・2年生の生徒の皆さんは、それぞれ学年が進み、持つ役割と責任が増して参ります。2年生は前年度までの反省に基づく夢の実現に向けた取り組みの加速、1年生は前年度の反省に基づく新たな取り組みなど、歩みを止めるいとまがありません。学校活動に勤しんでいる生徒諸君を見守っていたくとともに、ときおり叱咤激励も頂けましたら幸いです。

最後となりましたが、戴いた声をしっかり受け止め、活かしていくことをお伝えし、評価委員会としての結びと致します。ありがとうございました。

令和3年3月22日

北海道大谷室蘭高等学校  
学校評価委員会